

弱視者対策階段ブロックのお勧め

近年高齢者社会から超高齢者社会を迎え、駅等の階段での弱視者による転倒事故が年々増加の一途をたどっています。事故の大半が階段の区別がつかないことによるとされており、公共施設における階段の段差は**容易に識別しやすくする必要があります**。

国土交通省の『公共交通機関の旅客施設に関する移動等円滑化整備ガイドライン』によりますと、

- 段鼻部は全長にわたって周囲の部分との色の明度、色相又は彩度の差(輝度コントラスト)を大きくすることにより段を容易に識別できるものとする。
- 段鼻部の色の始まりの段から終わりの段まで統一された色とする。
- この識別部分は、汚損、損傷しにくいものを用いる。

他、不特定多数の利用する公共建築物の階段には、多様な利用者にとって使いやすい施設とすることとされ、ガイドライン・その他による数多くの規定が定められています。

弊社は階段ブロックの弱視者対策製品の先駆企業として、長年弱視者対策製品の開発に携わってまいりました。現在では豊富なラインナップとバリエーションでお客様のご要望にお応えしております。

特徴	◆標識板と一体化した階段ブロック	関東コンクリート工業製の弱視者対策階段ブロックは、シールなどの一時的な貼り付け形式ではなく、段鼻石に標識を直接埋め込みます。よって、 標識部分は剥がれず堅牢 です。
	◆石材の対比による段差の立体化	踏面・段鼻部の色の輝度比の大きい部材を採用することで、標識のみを設置した場合よりも、段鼻の識別がより鮮明になり、 段差の立体化 に優れています。弱視者により優しい階段ブロックです。
	◆豊富なバリエーション	関東コンクリート工業製の弱視者対策階段ブロックは自社工場製造の為、 部材の色を自由に選択 できるので、段鼻とその他部材の輝度比対策にも有効です。

弱視者用標識板(埋め込み型・アクリル板)

